

令和6年度
自己評価結果公開資料

学校法人ティビィシー学院
国際ペット総合専門学校

2025年3月

1. 学校の教育目標

本校は、次の教育理念のもと教育の質の向上ならびに教育環境の充実に努めてまいりました。

(1) <極める>

新たな時代に対応するため、それぞれの専門分野における技術・知識・資格を極め、地域社会に貢献できる人材を育成する

(2) <人間力・生き抜く力>

基礎的な能力（コミュニケーション力・ビジネスマナー等）を養うとともに、何事にも意欲をもって自ら学び、創造力を高め、豊かな人間性を育成する

(3) <絆の大切さ>

人としての在り方・生き方について深く学び、対人関係力（他者に対する思いやり）を高め、命の大切さを熟知し、自分の価値を見出せる人材を育成する

2. 重点的目標と取り組み

次の点に重きを置き学校を運営していく。

1) 教育内容の充実

- ・企業等と連携した経験的、体験的、実践的学習の展開
- ・専門力とともに人間力を高める教育の充実
- ・思考力、判断力、コミュニケーション能力を高める教育の充実

2) 学生・保護者の満足度向上

- ・学生・保護者・学校の情報共有と連携
- ・三者面談（学生・保護者・教員）の有効活用
- ・多面的本校理解の推進

3) 高い就職率

- ・在り方生き方の就職指導の充実（自己理解と自己表現）
- ・「就職実務」の指導内容の充実と方法の改善
- ・就職につながる企業実習等の重視

4) 高い検定取得率

- ・取得検定の精選と高度化
- ・就職指導に関連づけた検定対策
- ・検定関係授業の充実と指導方法の改善

5) 安定した入学者数の確保

- ・魅力ある教育内容の充実と学校作り
- ・入学関係者のニーズに即した広報活動と対応

6) 退学者の防止

- ・学習、生活、就職活動等におけるきめ細かい学校支援
- ・あらゆる教育場面を通しての、学生理解と速やかな対応

3. 評価項目の達成及び取組状況

(1) 教育理念・目標

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

評価項目		評価
1	学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4
2	学校における職業教育の特色は何か	4
3	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4
4	学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4
5	各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4
(評価の根拠) 学校理念・人材育成像等は、学生に対し「学生の手引き」や校内オリエンテーションにて周知している。保護者への周知については、適時実施している三者面談時や電話にて学生の学習状況や生活状況等の報告に加え、各学科の目標などについて話し理解を得ている。 また、各学科の教育目標や人材育成像に関しては、就職先・実習先企業等の業界関係者、本校の非常勤講師の意見を参考に、校内の学習指導部にて協議し、カリキュラム等の編成に反映させている。 (今後の改善方策) 今後も社会のニーズ、業界のニーズの把握に努め、それらを柔軟に取り入れていく。		

(2) 学校運営

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

評価項目		評価
1	目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
2	運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4
3	運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか 有効に機能しているか	4
4	人事、給与に関する規定等は整備されているか	4
5	教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
6	業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
7	教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4
8	情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4
(評価の根拠) 毎年度初めに教務部、事務局でそれぞれ事業計画を策定し運営している。また、運営組織についても有効に機能しており、規則等の整備もできている。 教育活動等の情報公開については、ホームページやSNS等を活用しリアルタイムに情報発信する他、チラシ等を作成し関係者に配布し公表している。 業務の効率化について、校内ネットワークを完備し情報の一元化や共有化等に対応している。 (今後の改善方策) ホームページやSNSで情報を発信することが多くなっているため、今後も継続的に教職員に対し情報モラルの徹底を図っていく。		

(3) 教育活動

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評価項目		評価
1	教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
3	学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
4	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実践されているか	4
5	関連分野の企業・関連施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
6	関連分野における実践的な職業教育（産業連携によるインターンシップ、実技・実習等）が体系的に位置づけられているか	4
7	授業評価の実施・評価体制はあるか	4
8	職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
9	成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	4
10	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
11	人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4
12	関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務・兼務含む）を確保するなどマネジメントが行われているか	4
13	関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4
14	職員の能力開発のための研修等が行われているか	4
(評価の根拠) 教育目的に沿って教育課程を体系的に編成している。カリキュラムについては、学習指導部を結成し、関連分野の企業等の意見を取り入れながら、組織的に多人数で多方面から検証している。動物看護師学科、ペットスペシャリスト学科については、国家試験「愛玩動物看護師」を受験することができる養成校として国より規定されているカリキュラムを遵守している。また、全学科で全教科シラバスを作成し学生に配布することで指導内容・計画を周知している。 授業評価については、全学生対象に全教科の授業評価アンケートを実施し、結果を教科担当に伝え、授業運営の参考・改善に活用している。また、教員の資質向上を目的に、専門分野や指導力を強化する教員研修を計画的に実施している。 企業等との連携による実習・演習については全学科で実施し、さらに全学科で企業実習を実施することで、実践力の修得に役立てている。 (今後の改善方策) 関連分野における先端的な知識・技術を習得するための研修を行っているが、更なる知識・技術力向上のために、実施内容の充実を図る。		

(4) 学修成果

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

評価項目		評価
1	就職率の向上が図られているか	4
2	資格取得率の向上が図られているか	4
3	退学率の低減が図られているか	2
4	卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4
5	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4
(評価の根拠) 各学科少人数制・担任制を設けることで、きめ細かい指導を心掛け実践している。また、就職指導部・学習指導部・生活指導部の3つの指導部を設け、定期的に委員会を開催し、意思の疎通を図っている。 就職については、外部講師を招聘し、講話を実施することで就職意欲の向上につなげている。 資格取得率に関しては全国平均合格率以上の結果を出すことができています。特にトリマー学科については、6年連続JKCトリマーライセンスC級100%合格を達成し、全国トリミング大会でも12年連続出場し令和6年度は全6部門入賞するなど優秀な成績を収めることができた。 なお、ドッグトレーナー&アニマルケア学科も全国ドッグトレーニング大会も8年連続で出場し、全国レベルの技術を身に付けている。 退学率については、精神疾患による退学者が多く、今後、精神疾患患者への対応が退学防止の鍵になると思われる。 キャリア形成への効果を把握するにあたり、できるかぎり卒業生の就職先へ訪問し状況確認をしている。また、卒業生を招聘し、在校生との座談会を開催し、そこでの意見を参考にしている。 (今後の改善方策) 就職については、入学時より就職への意識付けを行い、保護者を交え早期に進路についての方向性を決定し、就職意欲の向上につなげていく。 退学率の低減のため、精神疾患患者への対応が退学防止の鍵になると思われる。		

(5) 学生支援

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

評価項目		評価
1	進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
2	学生相談に関する体制は整備されているか	4
3	学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4
4	学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
5	課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
6	学生の生活環境への支援は行われているか	4
7	保護者と適切に連携しているか	4
8	卒業生への支援体制はあるか	4
9	社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
10	高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4
(評価の根拠) 全学科担任制をとっており、学生支援については基本的に担任が対応にあたる。その他学生をあらゆる方面から支援するため、それぞれの支援分野に分け、学習指導部・生活指導部・就職指導部が組織的に対応している。 学生への経済的支援として、学生の実情に応じ奨学生制度や学費分割制度など取り入れ、学生の経済的負担の軽減をおこなっている。また、就職の際に必要な自動車運転免許の取得について、安価で取得できる合宿免許の斡旋を行っている。 健康管理として年度初めに全学生対象に健康診断を実施している。また日常的な体調不良者対応については、常備薬を用意し、体調不良者を休ませる保健室を完備している。 卒業生への支援として、就職面では転職に関する相談や斡旋を行っている。また、資格・検定取得や技術向上のための勉強会や講習会等の開催を告知し、参加希望者の受け入れを行っている。 高校等へのキャリア教育については、高校へ出向いて模擬授業を実施している。 (今後の改善方策) 卒業生への支援として再就職の相談・斡旋の他、イベントや研修・講習の実施の際に、卒業生へホームページや、SNSにて告知しているが、周知徹底がされていないため、卒業生の目に触れる工夫をしていく。		

(6) 教育環境

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

評価項目		評価
1	施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
2	学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
3	防災に対する体制は整備されているか	4
(評価の根拠) 教育や学校生活に必要な施設・設備は十分に整備されている。さらに保守管理についても適宜速やかに対応している。 インターンシップについては全学科授業で取り入れ、全学生対象に実施している。また、例年2年次に海外研修旅行を実施しているが、令和6年度は円安による海外物価高騰のため、国内研修旅行に変更。 防災については、避難マニュアルを作成し、4月に全校生で避難訓練を実施している。 (今後の改善方策) 施設・設備については不足しているものを今後も計画的に補充・整備していく。		

(7) 学生の受入れ募集

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

評価項目		評価
1	学生募集活動は、適正に行われているか	4
2	学生募集活動において、教育成果は伝えられているか	4
3	学納金は妥当なものとなっているか	4
(評価の根拠) 学生募集については設置学科や募集要項、パンフレットなど学習内容や広告媒体の詳細なところまで会議を開いて決定している。また、オープンキャンパスや会場ガイダンス、高校への訪問においては、就職や資格取得、授業内容など実績を正確に伝えている。 学納金は、教育内容に沿った設備や人件費、諸経費等を考慮し算出している。 (今後の改善方策) 特になし。		

(8) 財務

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

評価項目		評価
1	中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
2	予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
3	財務について会計監査が適正に行われているか	4
4	財務情報公開の体制整備はできているか	4
(評価の根拠) 財務については、設立から収入超過のため大きな問題はない。また、予算については在籍数から収入が算出されるため、学校の規模にそぐわない大きな投資をすることもなく健全に計画されている。 財務情報はホームページにて公開している。 (今後の改善方策) 特になし。		

(9) 法令等の遵守

適切… 4、ほぼ適切… 3、やや不適切… 2、不適切… 1

評価項目		評価
1	法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
2	個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
3	自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	4
4	自己評価結果を公開しているか	4
(評価の根拠) 法令や専修学校設置基準等の改正等に沿って学校運営している。また個人情報についても細心の注意を払っている。 自己評価については、組織化して実施してきた。また、その中で出た問題点については改善に向けて対応している。結果の公開もホームページ上で実施している。 (今後の改善方策) 特になし。		

(10) 社会貢献・地域貢献

適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1

評価項目		評価
1	学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	4
2	学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4
3	地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	4
(評価の根拠) 積極的な社会貢献・地域貢献はできなかったが、校舎周辺の清掃活動等で地域貢献を図った。高校生や中学生を対象とした職場体験や研究授業等は、依頼があれば受け入れることとしていた。学生のボランティアに関しては、産学連携を結んでいる58ロハスクラブのマルシェイベントにてドッグランの受付や総合受付など、接客を学べるボランティア活動を行った。また、栃木県動物愛護フェスティバルでも、ボランティア活動を行った。 (今後の改善方策) 地域に対する公開講座・訓練講座については、動物解剖学を8月に開催し、近隣の高校生や高校教諭が参加してくれた。 ボランティアについても、今後も58ロハスクラブのマルシェイベント等のボランティア活動を奨励していく。		

学校関係者評価委員会 議事録

日 時 : 令和7年9月22日(月) 14:00～14:50

場 所 : 国際ペット総合専門学校 1001 教室

参加者 : 学校関係者評価委員 6名
事務局(学校) 11名

学校関係者評価委員会の委員名簿

委員名	協会(会社)名	役職名	種別
瓦井 綾	メディカルサロンひなてん	オーナー	企業等委員
関口 行広	HyperFlite Japan	代表	企業等委員
浅井 洋子	うつのみやペットクリニック	院長	企業等委員
酒井 信幸	株式会社カドック	代表取締役社長	企業等委員
荒井 光恵	保護者代表		保護者代表
赤羽 楓香	卒業生代表(令和6年度卒業生)		卒業生代表

- 議事次第 : (1) 開会 校長挨拶、委員紹介
(2) 協議 令和6年度自己評価報告・協議
(3) 閉会 謝辞、事務連絡

指摘事項・意見等 :

委員の方に対し学校関係者評価委員会の目的や規定について説明し、改めてご理解をいただいた。

また、令和6年度自己評価について、項目ごとに評価の根拠と改善内容を報告した上で、本校から委員の方にご質問をし、各委員の方からご返答やご意見等をいただいた。

本校から各委員への質問・各委員からのご返答やご意見は次の通り。

議事結果(自己評価報告・協議)

〈教育理念・目標について〉

- ・業界の動向・ニーズを企業等委員の方よりご意見をいただきたい。

酒井委員：数年前より商品の売れ行きなど悪くなりつつある

瓦井委員：サロンや病院は増加傾向にある

関口委員：ペットブームやペットを飼育する人が減少している

〈教育活動・学生活動について〉

- ・人材育成、就職活動についてのご意見を企業等委員の方いただきたい。

瓦井委員：トリミングサロンなどの求人数などが多いが即戦力となる人材が不足しているので、1人で仕事を任せられる人材を求めている。

関口委員：犬猫の売値が下がっており、ブリーダーで繁殖している犬猫も余り始めており、就職活動に影響が出るのではと思っている。

〈学生支援について〉

- ・保護者目線で学生支援をどのように感じているか、ご意見をいただきたい。
荒井保護者：女子学生が多いので男子学生の入学者が増える方法を考えると良い。
- ・卒業生代表として学生時代の学生支援をどのように感じているか、ご意見をいただきたい。
赤羽卒業生：学生時代はハンドドライヤーを使用していたが、就職先ではスタンドドライヤーを使用しているので数台あると良かった。
トリマー学科では猫を使用した実技がないのでやってみたかった。

〈学生募集について〉

- ・週3日登校3年課程の学科があった場合を企業等委員の方よりご意見をいただきたい。
酒井委員：就職先がどのようなところになるのか難しい
瓦井委員：技術面が身についていなければ就職受け入れは厳しい
関口委員：不登校気味の生徒には良いのかもしれない
荒井保護者：毎日登校することが困難な生徒や学生が動物業界にかかわりたいと思う希望になり
前向きになっていく部分もある。
赤羽卒業生：どのような資格取得ができるのかにより良し悪しがあると思う。

以上

作成日 令和7年9月30日